

女子チームが金賞



スマホのアプリ活用

有明高専
2チーム
コンテストで上位に

大学生や高専学生などのビジネスプランを競う、佐賀ビジネスプランコンテストで、有明高専電子情報工学科の学生2チームがそれぞれ金賞と銀賞に輝いた。金賞に輝いた中尾七海さん(三年生)は「四

い野球観戦を貴方に」。銀賞は谷口幹さん(四年生)を中心に川添浩太郎さん(五年生)、初村哲志さん(四年生)、井上翔太さんの「世界遺産観光支援サービス」ARで彩る世界遺産。

中尾さんたちはスマートフォンアプリで、近隣では福岡城で遺跡などにスマートフォンを向けると画面上に往事の姿を再現する機能を持つ「AR」を使って、野球の打者や投手をスマートフォン画面を通して、打率や防御率得意なコース、投手が投げたコースを瞬時に表現。また打者のヒットなどスコアボードのように入力できるシステムを提案。

谷口さんたちは、荒尾市の世界遺産候補、万田坑跡と同じ「AR」のアプリを使い万田坑が稼働していた往事をスマートフォン画面に映し出すシステムを提案した。

中尾さんは「野球部のマネジャーをしており、スマートフォンなど多機能型端末を使うことで、スコアボードの入力などデジタル化できないかなと考えたのがきっかけ。将来的にはプロ野球を球場で観戦するときに選手を映し出すだけで打率などの情報が瞬時に分かるようにすると便利だなと発案しました」と語った。

地元である荒尾市の世界遺産を盛り上げようと考案した。すでに荒尾の観光協会には話を進めており、今後、炭鉱のまちファンクラブなど関係団体に持ちかけて実現したいなと考えています」と語った。

「六回連続の受賞となりました。女子チームが受賞したのは初めてでは。彼らのプランが実現できればいいなと思っています」と指導した石川洋平准教授。